

景況レポート

2022年
夏号

Contents

1. 第77回伊勢崎佐波地区中小企業景気動向調査
2. 第188回特別調査
「混迷する経済社会情勢と中小企業経営
—コロナ、原材料価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて—」
3. 企業紹介
株式会社ワイズサイン



伊勢崎商工会議所

〒372-0014
群馬県伊勢崎市昭和町3919
TEL:0270-24-2211



アイオー信用金庫

〒372-8666
群馬県伊勢崎市中央町20番17号
TEL:0270-30-5001

I 全業種(回答366社...回答率99.4%)

業況判断D.I.は、小幅ながら2期連続改善、来期はわずかながら悪化の予想

























●今期(2022年4~6月期)の業況

今期の全業種の業況判断D.I.は△10.4と、前期との比較で5.1ポイント上回り、小幅ながら2期連続の改善となりました。項目別の業況判断D.I.では、売上高は△11.5(前期比+2.6)、資金繰りは△9.8(前期比△0.7)、採算△25.1(前期比△4.6)、従業員増減△1.9(前期比△1.6)と売上はわずかながら改善したものの、他の項目は悪化しています。業種別の業況判断D.I.においては、製造業は弱含み横ばいですが、卸売業、小売業、建設業・不動産業、サービス業では改善しています。独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他2団体が実査した全国調査(以後「全国調査」という。)との比較では、全業種の業況判断D.I.で全国調査を9.0ポイント上回りました。業種別でも乖離幅は製造業の2.1から小売業の20.8まで異なりますが、すべての業種で全国調査を上回る結果となっています。

●来期(2022年7~9月期)の業況

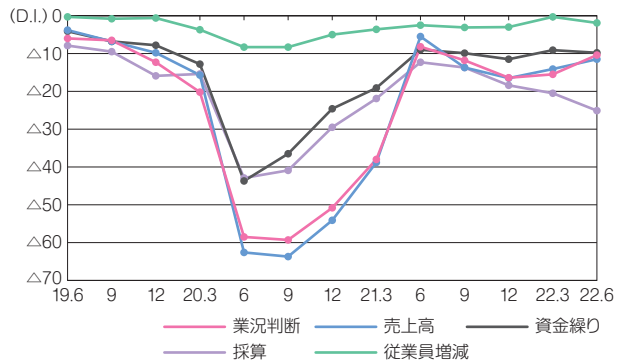
来期の業況判断D.I.の見通しは△11.5と今期との比較で△1.1ポイントとわずかながら悪化を予想しています。項目別業況判断D.I.見通しでは、売上高△10.1、資金繰り△10.1、採算△23.6、従業員増減△2.2と売上高と採算はわずかながら改善、資金繰りと従業員は横ばいの見込みとなっています。また、業種別の業況判断D.I.見通しでは製造業、卸売業は悪化、サービス業は小幅な悪化、小売業、建設業・不動産業は小幅ながら改善する予想となっています。

■業種別天気図

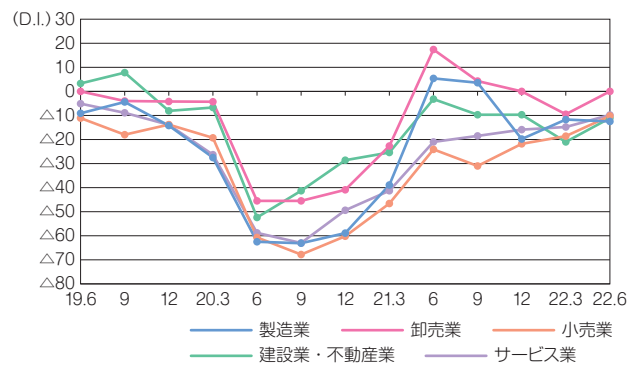
	前期 2022年1~3月期	今期 2022年4~6月期	来期予想 2022年7~9月期	全国調査 2022年4~6月期
全業種	 △15.5	 △10.4	 △11.5	 △19.4
製造業	 △11.7	 △12.5	 △18.9	 △14.6
卸売業	 △9.5	 0.0	 △4.8	 △12.5
小売業	 △18.6	 △10.2	 △8.0	 △31.0
建設業 不動産業	 △21.0	 △11.1	 △6.3	 △20.6
サービス業	 △14.8	 △9.8	 △11.0	 △15.2



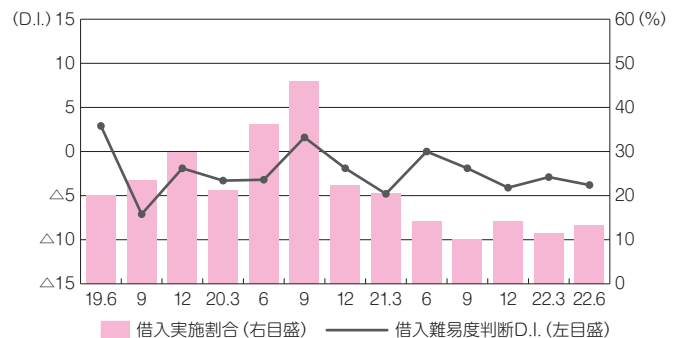
■項目別業況判断D.I.



■業種別業況判断D.I.



■借入実施割合・借入難易度D.I.



Ⅱ 製造業(回答112社…回答率100%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△12.5と、前期との比較で0.8ポイントの弱含み横ばいとなりました。全国調査との比較では、業況判断D.I.で2.1ポイント上回りました。

業種別にみると、改善している業種と悪化している業種が混在し、まだら模様となっています。

項目別には、原材料仕入単価は8.4ポイント上昇しているほかは、すべての項目で悪化しています。

来期の業況判断D.I.は△18.9と悪化を予想しており、項目別には原材料仕入単価は引続き高く、売上高、採算、設備操業率ともに弱含み横ばいが見込まれています。

経営上の問題では、「原材料価格の上昇」が29.7%、「需要の停滞」12.4%、「製品(加工)単価の低下・上昇難」8.6%で、「原材料価格の上昇」が引続き最大の懸念材料になっています。

■業種別の状況

【輸送機械】

業況判断D.I.は、△18.2と前期比4.0ポイント改善しています。来期は△9.1とさらに改善の見込みであるものの、半導体不足および原材料高の影響等払しょくしきれない状況です。

項目別では、原材料仕入単価は100.0と引続き上昇しており、原材料在庫は減少、売上高、採算、資金繰り、設備操業率ともに悪化と生産活動を取巻く環境は依然不安定な状況となっています。

経営上の問題では、「原材料価格の上昇」が25.8%、「従業員の確保難」12.9%となっています。

【機械器具】

業況判断D.I.は、△26.7と前期比9.7ポイント改善しましたが、来期は△46.7と大幅な悪化が見込まれています。

項目別では、売上高は改善、採算、設備操業率は悪化、原材料仕入単価は小幅減少ながら依然高く、原材料在庫は減少しています。

経営上の問題点としては、「原材料価格の上昇」が27.0%、「需要の停滞」13.5%、「原材料の不足」が10.8%となっています。

【金属製品】

業況判断D.I.は、4.0と前期比14.2ポイントの悪化となりました。来期の業況判断D.I.も、△12.0と今期比では16.0ポイントの悪化を見込み、マイナス圏になっています。

項目別には、売上高、資金繰りともに大幅に悪化していますが、原材料仕入単価は低下しているものの依然高水準で、採算は小幅ながら悪化しています。

経営上の問題点については、「原材料価格の上昇」31.5%、「需要の停滞」13.0%となっています。

【金属プレス・メッキ】

業況判断D.I.は、△61.5と前期比28.2ポイントの大幅悪化になり、来期は△53.8と改善が見込まれていますが、大幅なマイナス圏は継続しており、厳しい状況が継続する見込みです。

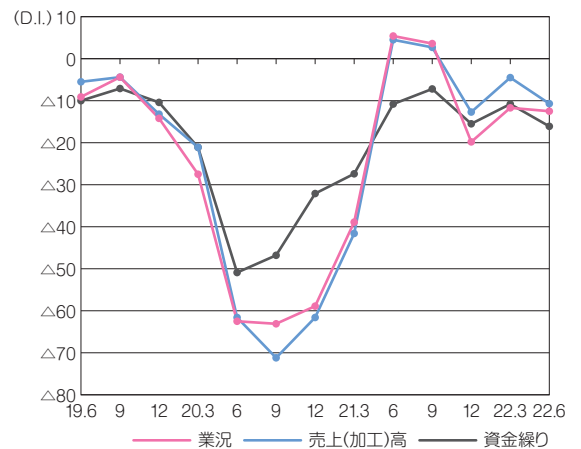
項目別には、売上高、資金繰り、採算、設備操業率とも大幅に悪化しており、原材料仕入単価は依然高水準であり、厳しい状況となっています。

経営上の問題点については、「原材料価格の上昇」31.0%「需要の停滞」24.1%、「製品(加工)単価の低下・上昇難」13.8%となっています。

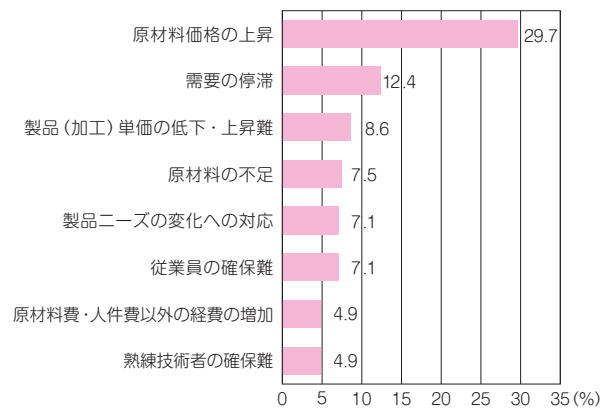
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 11.7	△ 12.5	△ 18.9	△ 14.6
売上(加工)高	△ 4.5	△ 10.7	△ 12.6	△ 2.3
資 金 繰 り	△ 10.8	△ 16.1	△ 20.7	△ 12.3
採 算	△ 16.2	△ 33.0	△ 33.3	△ 26.8
原材料仕入単価	57.7	66.1	61.6	83.7
原 材 料 在 庫	△ 3.6	△ 6.3	△ 9.8	△ 0.2
従 業 員 増 減	2.7	△ 2.7	△ 0.9	△ 2.6
設 備 操 業 率	△ 3.6	△ 17.0	△ 17.0	△ 5.1

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点(複数回答)



【印刷】

業況判断D.I.は、△12.5と前期と比較して12.5ポイント悪化し、来期の業況判断D.I.は、△37.5とさらに厳しい状況が継続する見込みです。

【プラスチック】

業況判断D.I.は、12.5と前期比37.5ポイントの大幅な改善となっています。来期の業況判断D.I.は0.0と悪化が見込まれます。

Ⅲ 卸売業(回答21社…回答率91.3%)

■景況

今期の業況判断D.I.は0.0と、前期との比較では9.5ポイント改善しました。全国調査との比較では、業況判断D.I.で12.5ポイント上回りました。

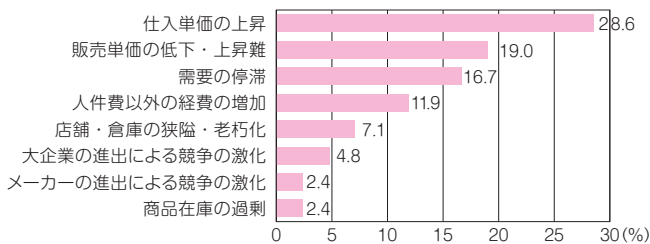
項目別では、売上高、採算ともに悪化しています。仕入単価は今期52.4、来期も横ばいで高止まりしており、売上単価も上昇が継続する見込みです。

業種別では食料・飲料卸売業の今期の業況判断D.I.は、0.0と前期比12.5ポイント改善しており、来期見通しでも0.0と横ばいの見込みとなっています。

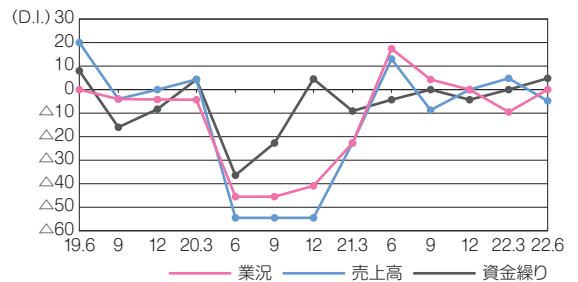
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 9.5	0.0	△ 4.8	△ 12.5
売 上 高	4.8	△ 4.8	0.0	△ 1.7
資 金 繰 り	0.0	4.8	4.8	△ 10.2
採 算	△ 4.8	△ 9.5	△ 14.3	△ 17.4
売 上 単 価	9.5	28.6	38.1	41.1
仕 入 単 価	42.9	52.4	52.4	73.7
在 庫 数 量	△ 4.8	4.8	4.8	1.3
従 業 員 増 減	0.0	△ 4.8	0.0	△ 1.2

■経営上の問題点(複数回答)



■主要業況判断D.I.の推移



Ⅳ 小売業(回答88社…回答率100%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△10.2と、前期に引続き8.4ポイント改善し、全国調査との比較では、業況判断D.I.で20.8ポイント上回っています。

項目別では売上高は改善、採算は強含み横ばい、客単価、仕入単価、在庫数量ともに上昇しています。

来期の業況判断D.I.は△8.0と、今期との比較で小幅ながら2.2ポイント改善する予想になっています。

経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」が21.1%、「消費者ニーズの変化への対応」18.1%について「販売価格の低下・上昇難」11.8%となっています。

■業種別の状況

【飲食料点小売業】【飲食店】

飲食料点小売業の業況判断D.I.は、△4.0と前期比21.0ポイントの改善で、来期も4.0と引続き改善を予想しています。

飲食店の業況判断D.I.は、0.0と前期比28.6ポイント改善していますが、来期は25.0ポイントの悪化を予想しています。

飲食料点小売業の経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」29.0%、「消費者ニーズの変化への対応」17.7%、「需要の停滞」11.3%と続いています。

【その他】

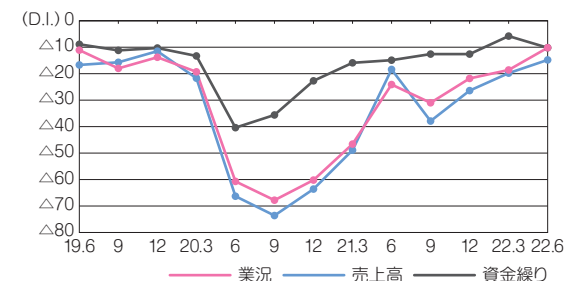
業況判断D.I.は、自動車販売はプラス水準の中で横ばい、燃料はマイナス水準の中での改善、医薬品・化粧品、スポーツ・文具、家電は悪化しており、来期も同様な状況が継続する見込みで、業種毎に差が大きくなっています。

経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」、「販売単価の低下・上昇難」が多く、中小小売業では、価格転嫁が容易ではない実状があらわれています。

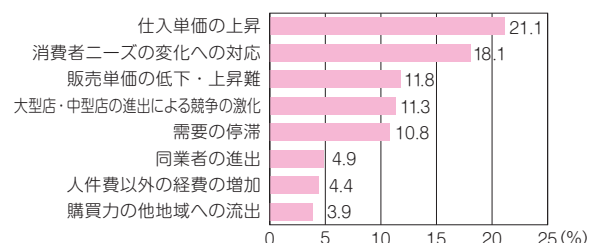
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 18.6	△ 10.2	△ 8.0	△ 31.0
売 上 高	△ 19.8	△ 14.8	△ 12.5	△ 19.5
資 金 繰 り	△ 5.8	△ 10.2	△ 9.1	△ 23.8
採 算	△ 24.4	△ 23.9	△ 23.9	△ 36.5
客 単 価	△ 16.3	△ 6.8	△ 10.2	△ 13.2
仕 入 単 価	36.0	44.3	47.7	52.0
在 庫 数 量	△ 8.1	△ 3.4	△ 9.1	△ 11.6
従 業 員 増 減	0.0	0.0	△ 2.3	△ 3.3

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点(複数回答)



V 建設業・不動産業(回答63社…回答率100%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△11.1と、前期比較9.9ポイント改善し、全国調査比でも、9.5ポイント上回りました。

来期の業況判断D.I.は△6.3と小幅ながら改善の見込みです。

項目別では、売上高は改善したものの、材料単価は低下しているものの引続き高く、受注額はわずかながら改善、採算は悪化しています。

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」28.6%、「材料の入手難」14.3%、「民間需要の停滞」11.7%となっています。

■業種別の状況

【総合工事】

業況判断D.I.は、7.1と前期比36.7ポイント大幅に改善していますが、来期は3.6と3.5ポイントの小幅な悪化が見込まれています。

項目別には、売上は改善しているものの、材料単価は依然高水準で、採算は横ばいとなっています。

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」が30.0%、「材料の入手難」17.1%と依然として「原材料」が最大の懸念材料になっています。

【設備工事】【職別工事】【不動産】

設備工事業の業況判断D.I.は、△40.0と前期比30.0ポイント大幅に悪化し、来期も△30.0と厳しい状況が継続することが見込まれます。

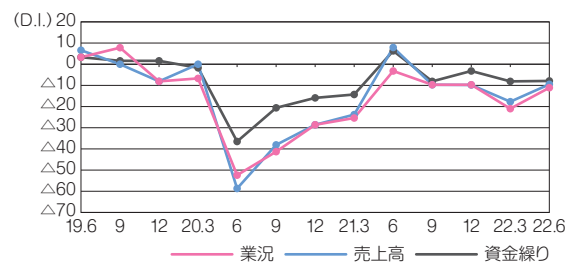
職別工事業の業況判断D.I.は、△44.4と前期比11.1ポイント悪化していますが、来期は△11.1と改善の見込みです。

不動産業の業況判断D.I.は、△8.3と前期比1.2ポイントの小幅悪化となっており、来期は△16.7とさらに悪化する見込みです。

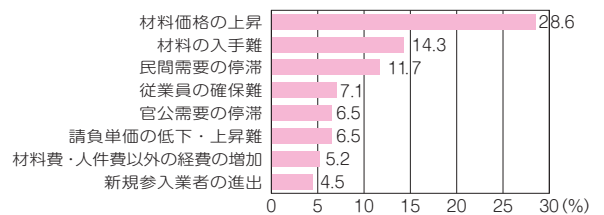
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 21.0	△ 11.1	△ 6.3	△ 20.6
売 上 高	△ 17.7	△ 9.5	△ 7.9	△ 19.6
資 金 繰 り	△ 8.1	△ 7.9	△ 1.6	△ 10.1
採 算	△ 22.6	△ 28.6	△ 19.0	△ 36.0
受 注 額	△ 16.1	△ 14.5	△ 11.3	△ 21.5
材 料 単 価	59.0	45.2	46.8	82.1
従 業 員 増 減	△ 1.6	1.6	1.6	△ 2.6

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点(複数回答)



VI サービス業(回答82社…回答率100%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△9.8と、前期比で5.1ポイント改善し、全国調査との比較では、業況判断D.I.で5.4ポイント上回りました。

項目別では売上高、資金繰り、採算ともに改善していますが、客単価は低下、仕入単価は小幅な上昇となっています。

来期の業況判断D.I.は△11.0と、今期との比較で1.2ポイントの悪化を予想しており、弱含みでの横ばいが見込まれています。

経営上の問題点は「消費者ニーズの変化への対応」19.4%、「材料等仕入単価の上昇」14.4%、「需要の停滞」13.3%、となっています。

■業種別の状況

【自動車整備】

業況判断D.I.は、△6.7と前期比13.0ポイントの悪化で、来期も△13.3と引続き悪化が見込まれています。

項目別では売上高は大幅に改善していますが、採算は弱含み横ばいで、資金繰りも横ばい、客単価、仕入単価ともに低下しています。

経営上の問題点は、「消費者ニーズの変化への対応」20.6%、「材料等仕入単価の上昇」17.6%となっています。

【洗濯・理容】

業況判断D.I.は、△45.5と前期比18.1ポイント改善、来期は△27.3と改善する見込みで、厳しい状況ですが改善傾向が継続する見込みです。

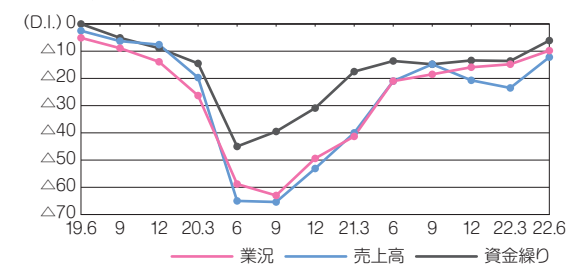
項目別では、売上高、資金繰りは改善、採算は横ばい、客単価、仕入単価はともに上昇しています。

経営上の問題点は、「消費者ニーズの変化への対応」29.2%、「新規参入業者の進出」16.7%となっています。

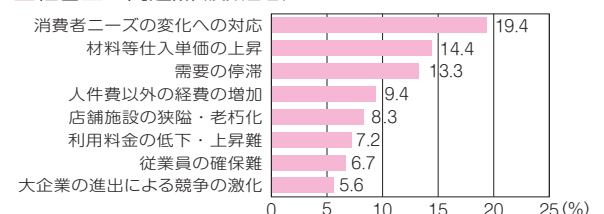
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 14.8	△ 9.8	△ 11.0	△ 15.2
売 上 高	△ 23.5	△ 12.2	△ 8.5	△ 3.4
資 金 繰 り	△ 13.6	△ 6.1	△ 7.3	△ 13.9
採 算	△ 24.7	△ 17.1	△ 15.9	△ 26.1
客 単 価	△ 8.6	△ 17.1	△ 6.1	△ 1.5
仕 入 単 価	23.5	26.8	20.7	59.8
従 業 員 増 減	△ 3.8	△ 4.9	△ 7.3	△ 4.4

■主要業況判断D.I.の推移



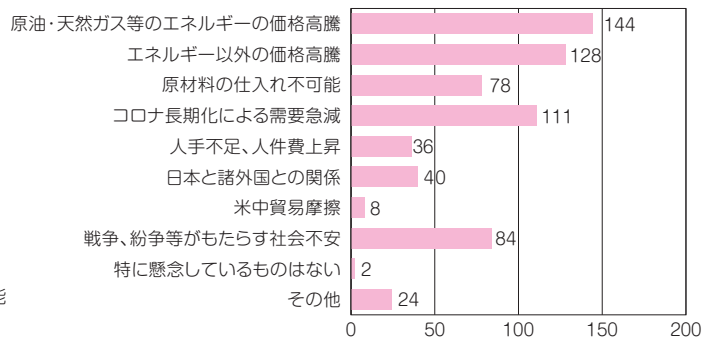
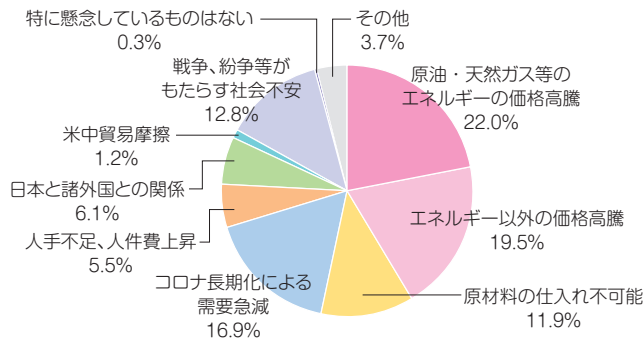
■経営上の問題点(複数回答)



特別調査 【「混迷する経済社会情勢と中小企業経営」—コロナ、原材料価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて—】

1 経済社会情勢についての懸念

経済社会情勢についての懸念は、エネルギーの価格高騰が22.0%でトップ、エネルギー以外の価格高騰が19.5%で続き、価格高騰への懸念が4割を超えるほか、コロナ長期化による需要急減16.9%、戦争、紛争等がもたらす社会不安12.8%、原材料の仕入れ不可能11.9%となっています。

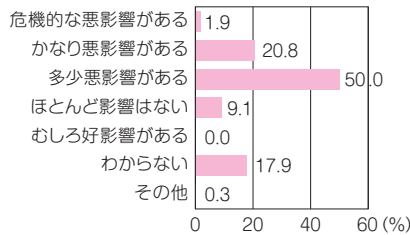


2 エネルギー価格上昇による収益への影響

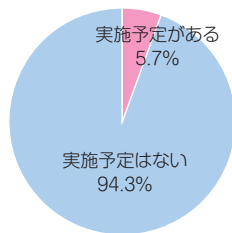
収益への影響は、危機的・かなり悪影響とする先が22.7%で、多少を加えると7割を超える先で影響をうけていますが、わからないとする先も17.9%ありました。

一方、省エネ設備投資については、実施予定があるのは5.7%に留まっています。

■収益への影響



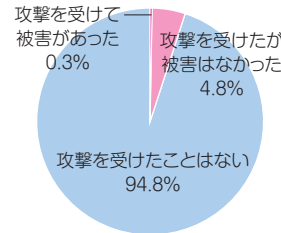
■省エネの設備投資



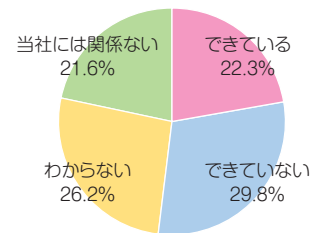
3 サイバー攻撃・サイバーセキュリティ

サイバー攻撃を受け被害があったのは0.3% (1先) でしたが、人材の確保・態勢の整備ができていないのは22.3%に留まり、できていない・わからないで56.0%となっています。また、関係ないとする先も21.6%あります。

■サイバー攻撃による被害



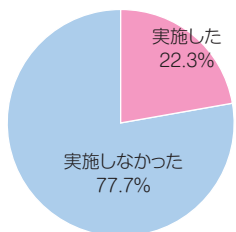
■人材の確保・態勢の整備



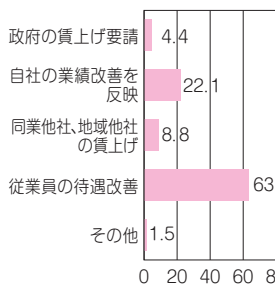
4 賃上げについて

賃上げを実施した先は、22.3%ですが、理由は、従業員の待遇改善が63.2%と圧倒的に多く、業績改善を反映の22.1%が続きます。また、実施しなかったのは77.7%で、理由は景気見通しが不透明35.0%、業績状況30.4%となっていますが、賃上げを検討したことがない先も22.8%ありました。

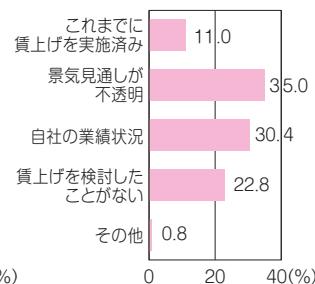
■賃上げについて



■賃上げを実施した理由

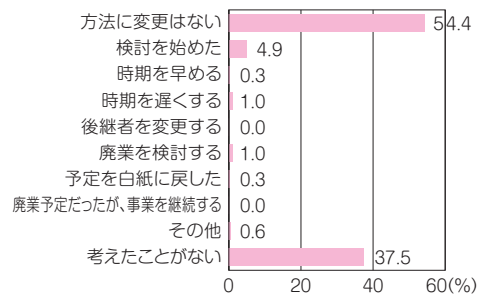


■賃上げを実施しなかった理由



5 コロナ禍を受けて事業承継 (M&A) についての考え方の変化

方法に変更はない54.4%、考えたことはない37.5%であり、検討を始めたのは4.9%に留まり、コロナ禍での事業承継についての考え方の変化は限定的なものでした。



今回の調査について

【調査方法】		【調査対象企業数・回答企業数】			
調査時期	2022年6月	製造業	112	112	100%
調査内容	①今期の状況：前年の同時期(2021年4~6月期)と比較した今期(2022年4~6月期)の状況 ②来期の見通し：前年の同時期(2021年7~9月期)と比較した来期(2022年7~9月期)の状況	卸売業	23	21	91.3%
調査方法	伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による面談または聞き取り	小売業	88	88	100%
対象企業	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の事業所	建設業・不動産業	63	63	100%
※毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。		サービス業	82	82	100%
		合計	368	366	99.4%

株式会社ワイズサイン



【企業理念】

- ・お客様の期待を超える商品とサービスを提供し、信頼される企業を目指す。
企画提案から製作施工まで、お客様から信頼され、必要とされる企業を目指そう。
- ・全従業員の生活安定向上を図る。
会社を発展向上させることにより、物心両面の幸せを追求しよう。
- ・社会に奉仕貢献できる企業を目指す。
我々は看板業を通じ地域社会に貢献と環境問題に配慮した提案のできる企業を目指そう。

【ワイズサイン4つの強み】

- ・社内一貫製作
設計から施行まで一貫した生産体制でご依頼も安心、各種看板・デザイン・設計・製作・施行まで一貫して承っております。店舗・商業施設・企業看板など、これまで様々な経験・実績がございますので、初めてのお客様でも安心してご依頼いただくことができます。
- ・熱い仲間たち
人材＝人財、一人ひとりが看板のプロフェッショナルとして活躍、スタッフの願いはひとつ「ご依頼いただいたお客様の会社が、看板によってより発展・繁栄すること」そのため、スタッフ一人ひとりが日々自身のスキルを磨いております。
看板を設置するまでに重要な「企画」「デザイン」「仕様」「安全」など、それぞれのプロフェッショナルがご対応致します。



会社概要

創 業 昭和42年7月
代 表 者 代表取締役 山崎 貴史
所 在 地 伊勢崎市三室町5808（本社）
中野区中野4-9-26（東京支店）
T E L 0270-62-6696（本社）
03-6908-6727（東京支店）
資 本 金 1,000万円
従 業 員 数 40名
営 業 時 間 8：30～17：45
営 業 品 目 サイン・商業施設のデザイン・施工・
管理・レンタル業務・フレーム販売

・万全のサポート

看板を安全に維持するために、高品質の看板を長い間使っていただくための万全な体制。一年365日、年中無休でメンテナンスを承っております。施工いただいたお客様のビジネスチャンスを損なう事がないよう、不意の故障等の際、迅速にメンテナンスを実施させて頂きます。また、日本全国各地のパートナー企業様とのネットワークにより、エリアを問わずメンテナンスが可能です。



・安心の全国対応

全国に広がるネットワーク施工もアフターフォローも万全のネットワーク。デザイン企画からメンテナンスまで全国ネットワークで対応致します。お店の顔となる看板を通じ、オフィス・店舗の新規出店・リニューアル工事などお客様の事業拡大・発展をお手伝いします。
スタッフと、地元の職人さんで細かな希望からアフターフォローまで対応致しますので、ご安心ください。

【想いをカタチに】

看板はお店の顔であり、一番目に付くものだと思います。どこに行くにも看板をあてにしてお店を探したり、目印にしている方も多いと思います。お客様のニーズを的確に捉えて、ご期待以上の商品を最後まで丁寧に一切妥協しない。それが私たちワイズサインです。



中小企業経営者の
みなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

● 制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

● 契約者貸付けの利用が可能
契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

● 共済金の受給権は差押禁止
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

経営セーフティ共済

● 中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で 最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

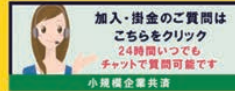
共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けると貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

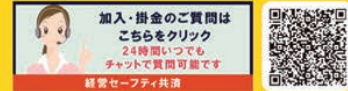
24時間・
365日
お問い合わせ
可能に
なりました

加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。
詳しくは下記のQRコード又はホームページからご確認ください。



小規模共済

検索



経営セーフティ共済

検索

Be a Great Small.
中小機構

5S Shinkin Bank

Sustainable Solution Strategy Support Smile

5Sを掲げ、地域貢献するしんきんを目指します。

Sustainable 持続可能な＝いつまでも常に地元のみなさまとともに

Solution 解決＝地元のみなさまの悩み、不安など課題を解決

Strategy 戦略＝緻密な戦略を持って

Support 応援＝地元のみなさまの夢を応援する

Smile 笑顔＝あたたかいハートの笑顔で



アイオー商店街



新現役マッチング交流会



新入社員研修会



アイオー・ビジネススクール



地元のソリューションをミライへ。
アイオー信用金庫

